

新産会

Waku Waku Shinsankai!



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 深井 昇
編集責任者 三浦 光広
平成27年10月1日 発行

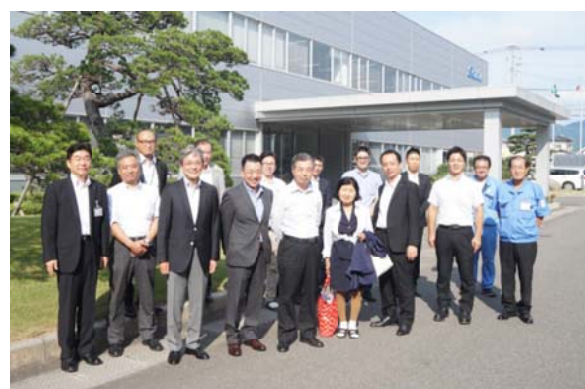
<http://www.shinsankai.gr.jp>

「九州企業視察 <<西部電機株式会社>> 訪問レポート

心地よい秋晴れの9月3日、国内企業視察の見学先として西部電機株式会社様へ訪問致しました。創業88年。九州電力の工事請負から始まり、今では自動倉庫や専用機の製造。公共事業向けのバルブアクチュエーター製造。また、国内で初めてCNCワイヤー放電加工機を製造販売した精密工作機械メーカーとして、国内外問わず多くのユーザーが同社の製品を扱っています。

工場全体が見渡せる整理整頓された工場では、品質へのこだわりが随所に見られ、ベテラン職人が若手へ指導している姿は厳しくも優しく、そして明るいように感じました。また、ベテラン職人が織りなす職人技「きさげ」は、人の手でミクロン精度を実現します。貴重な作業現場を拝見し、皆食い入るように見入っておりました。

宮地代表取締役社長、塩川取締役工場長、中村精密機械事業部部長はじめ、名古屋営業所所長の堀田様、水戸部様にも名古屋から駆けつけて頂き、出迎えからお見送りまで大層なおもてなしを頂戴しました。「九州の人は温かい」。深井会長の言葉通りの素晴らしい企業でした。



その後、博多の街に繰り出し参加者の懇親を図り、博多の夜を満喫致しました。

最後に、お忙しい中ご対応頂きました、西部電機株式会社の皆様、誠にありがとうございました。この紙面をお借りし、厚く御礼申し上げます。

(39期大谷 裕)

新産会秋の研修 旅行編

企業視察に続く後編の旅行は、大変盛り沢山の企画を用意してくださり楽しみ満載のものでした。

まずは熊本城からスタート、天守閣に登るのにちょっと年代が上がったメンバーは、結構足がふらついて何とか展望台へ。その後天守閣の横にある本丸御殿へ。平成20年に再建されたそうですが、ここの大広間の豪華絢爛さは一見の価値あります。名古屋城も近く大広間が再建されるそうで、この熊本城との比較が楽しみです。

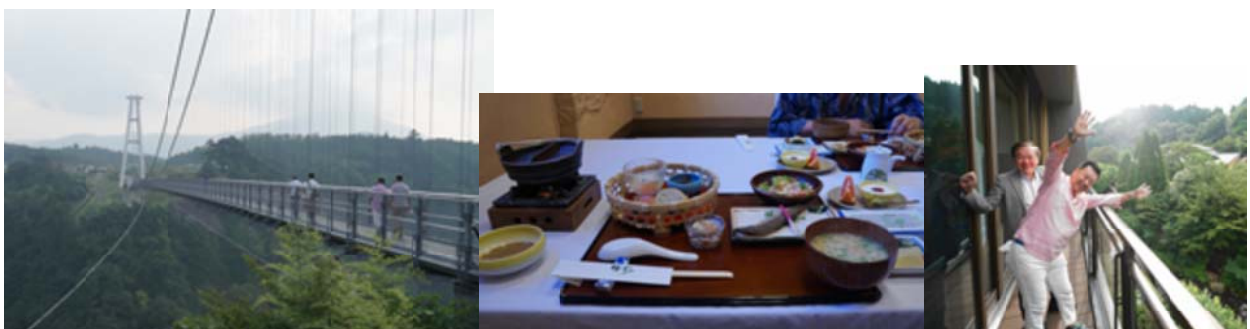


昼食は、阿蘇山の麓の自営農園で育てた食材を使った食材を、炉端でとることが出来るお店「辻農園の小次郎 朔」にて。ここで高級牛肉と地鶏と野菜を堪能。肉はさらっとした脂で、鶏は全く臭みのない高級地鶏。歯ごたえも味わいも抜群で量も半端なく、メンバーから「もうこれ以上は・・・」の声が出る中、最後の鳥とゴボウの釜めしをペロリの完食。まあ、それほど美味しかったということです。



食後、店主に「近くの阿蘇大社がいいよ」の一言で予定にはなかった阿蘇大社へ。そこで思わぬ遭遇が！熊本県民テレビ局がロケを行っており、くまモンの実物が登場。それを写真に収めようとする中、ぞろぞろと何やら大勢の人が・・・そこに囲まれていたのがスザンヌさん、いまるさん、陣内智則さんと、スターの生写真撮らせていただきました。(掲載はご容赦ください)

その後熊本を後にし、大分県の九重夢大橋へ。これで2日目の散策を終え、一同黒川温泉で風呂と食事を満喫。流石に体力を使い切り、私は一番早く大いびきでした。



<旅行編の続き>

翌日は朝から黒川温泉街を一周、そこで市川氏おすすめのシュークリームを年甲斐もなく頬張る！これがまた美味しい！！



旅館を出発後、由布院を散策。金鱗湖湖畔の「亀の井別荘」にて昼食。ここでも、豪華かつ美味しい食事を堪能。前日の昼食もそうだったのですが、ここも値段を尋ねると、名古屋の半値と思わされる内容。今回特に食事に関して、市川氏のスペシャルカードを切ってもらった感がイッパイで、一同満足にて大好評でした。



昼食を後にして、海池地獄、血の池地獄の見学を最後に、別府温泉「ひょうたんの温泉」で一同疲れを癒し、名古屋へ帰省しました。



新産会のもう一つの楽しみというか醍醐味！

それは、夜の2次会。福岡の屋台でラーメンをすすりながらだったり、部屋へ持ち込みの酒飲みだったり。ここで経営者たる集まりらしい会話がいろいろ出てきます。例えば・・・今労働者をどこへ募集を掛けたらいいか？いったいリクルートにどれだけつぎ込んでるか？

失敗談、成功談、はたまた身内の話まで。さらにこの旅での感想もやはり経営者。一日目の西部電機さんの企業姿勢、製品づくり、いろんな面でそれぞれの経営者の感性の鋭いメスが入り、会話は途切れることはありません。私もこの会に世話になって30年近く。やはり、自分の会社運営の一つの目標となり指針となる先輩、仲間です。今回の研修旅行も、たびば一く市川氏の計らいにより、旅行社としてではなく、参加メンバーの一人として、ご自身が一番楽しめる企画をぎっしり詰め込んでいただき、本当に全てにおいて参加者全員旅を満喫できました。

これも経営者同士が集まっているからこそその新産会らしい旅であったと思っております。

深井会長はじめ皆様には感謝をしております。ありがとうございました。

(15期 後藤 敏公)